第 55 回日本神経学会学術大会のお知らせ

第 55 回日本神経学会学術大会
大会長 吉良 潤一

開催概要

1. 学術大会会期：平成 26 年（2014 年）5 月 21 日（水）～ 24 日（土）
「Keep Pioneering: 神経内科創設の志の継承と飛躍」をテーマとして、上記日程で開催いたします。アジア、教育、飛躍をキーワードに、神経内科創設期のパッションを再体験し、将来の発展につなげることができる大会にしたいと考えています。
2. 学術大会会場：福岡国際会議場・福岡サンパレス・福岡国際センター
〒812-0032 福岡市博多区石城町 2-1
3. 事前参加登録：平成 26 年 2 月 14 日（金）～ 4 月 14 日（月）正午
※ 事前参加登録はすべてオンラインにより登録を行います。
（日本神経学会第 3 回専門医育成教育セミナー、第 11 回生涯教育セミナー「レクチャー」「Hands-on」、第 2 回メディカルスタッフ教育セミナーを含みます。）
※ 各種共催セミナー（ランチョンセミナー・イブニングセミナー）もオンラインによる事前予約を行います（4 月 1 日（火）～ 4 月 21 日（月）を予定）。

4. 参加費

カテゴリ	事前	当日	備考
会員	15,000 円	18,000 円	
非会員	18,000 円	21,000 円	
メディカルスタッフ (医師以外の医療介護福祉関係者)	3,000 円	3,000 円	
海外参加者	—	6,000 円	
Travel Grant 受賞者※ 1	—	3,000 円	日本滞在中の外国人留学生は無料
Asian Night (全員懇親会)	3,000 円	3,000 円	

※ 学部学生・初期研修医・日本滞在中の外国人留学生は無料

※1 Travel Grant を受賞された方が対象となります。

5. 第 55 回大会特別企画

○医学生・初期研修医セッション/レジデントセッション

医学生・初期研修医及びレジデントの先生方にご発表いただき、優秀な演題については表彰を行います。詳細は、ホームページをご確認ください。

○レジデントクリニカルトーナメント

「めざせ神経内科専門医試験合格！ J-1 レジデントクリニカルトーナメント」

神経内科専門医未取得の医師を対象に、クイズ大会を開催いたします。詳細はホームページをご確認ください。

○ International Session 5

「Meet the Expert Part 1/Female Neurologists and Neuroscientists in the World Part 2 (マリエラクルーズ)」

研究情報を交換し、研究者間の交流の場となるプログラムです。日本・アジアを含め、世界中から多くの女性神経内科医・神経科学者が参加いたします。福岡の街並みや景色を船から眺めながら、ランチクルーズとディスカッションをお楽しみください。参加申し込み方法は、ホームページをご確認ください（事前申込み締切りは 4 月 1 日（火））。

6. 宿泊：ホームページからお申込みください。お申込み締切りは 4 月 25 日（金）です。
7. 託児所：会期中、託児所をご用意いたします。お申込み締切りは 5 月 14 日（水）です（定員になり次第締切らせていただきます）。
8. エクスカーション：会期中エクスカーションを企画しております。お申込み方法等につきましては、追ってホームページでご案内いたします。

9. お問い合わせ

【大会事務局】

九州大学大学院医学研究院神経内科学

〒 812-8582 福岡市東区馬出 3-1-1

TEL : 092-642-5340 FAX : 092-642-5352

【運営事務局】

〒 810-0001 福岡市中央区天神 1-9-17-11F

TEL : 092-716-7116 FAX : 092-716-7143

E-mail : neuro55@congre.co.jp

ホームページ : http://www.congre.co.jp/neuro55/

10. 口演による発表方法

- (1) PC プロジェクターが使用可能です。
- (2) ビデオプロジェクターの使用はできませんが、PC からの動画投影は可能です (PC 本体をお持ち込みいただくことをお勧めします)。
- (3) 発表データはメディア (USB メモリーまたは CD-R) での持ち込みとなります。ただし、Macintosh および Windows 8 (OS) を使用の場合にはご自身の PC をご持参ください。
- (4) 研究倫理諸規定および個人情報保護の諸規定を遵守してご発表ください。
- (5) 利益相反の開示についてのスライドをご提示いただきます。詳しくは日本神経学会ホームページの「学会概要」内、「定款・規則」をご参照ください。
「利益相反 (COI) に関する運用規定」の「様式 4」を参考に作成してください。

11. ポスター形式による発表方法

- (1) 展示パネルは縦 210 cm×横 90 cm の予定です。パネル左上部の演題番号のみ、運営事務局で用意いたします (20 cm×20 cm)。演題名・氏名・所属は各自で 20 cm×70 cm に横書きしてください。
- (2) パネル自体に直接文字や図表を書いたり、パネルに糊づけしたりはできません。
- (3) ポスターをパネルに貼りつけるための画鋏は会場に用意いたします。
- (4) ポスター発表のスケジュール等は演題採用通知発表後にご案内させていただきます。
- (5) 研究倫理諸規定および個人情報保護の諸規定を遵守してご発表ください。
- (6) 利益相反の開示についての内容を記載してください。詳しくは日本神経学会ホームページの「学会概要」内、「定款・規則」をご参照ください。
「利益相反 (COI) に関する運用規定」の「様式 4」を参考に作成してください。

12. 日本神経学会 学術大会運営委員 (50 音順・敬称略)

阿部 康二	梶 龍兒	吉良 潤一	鈴木 則宏	祖父江 元	辻 省次
西澤 正豊	水澤 英洋	山本 光利			

13. 第 55 回日本神経学会学術大会 年次学術大会学術委員 (50 音順・敬称略)

青木 正志	赤松 直樹	阿部 康二	荒木 信夫	安東由喜雄	池内 健
池田 昭夫	池田 修一	犬塚 貴	岩坪 威	内山真一郎	大原 義朗
大八木保政	荻野美恵子	梶 龍兒	河村 満	神田 隆	菊池 仁志
北園 孝成	吉良 潤一	楠 進	桑原 聡	佐々木秀直	重藤 寛史
清水 潤	清水 優子	鈴木 匡子	鈴木 則宏	錫村 明生	砂田 芳秀
祖父江 元	高嶋 博	高橋 良輔	瀧山 嘉久	田中 恵子	田中 章景
谷脇 考恭	玉岡 晃	辻 省次	坪井 義夫	戸田 達史	飛松 省三
豊島 至	豊田 一則	中川 正法	中島 健二	中島 孝	中村 龍文
成田 有吾	新野 正明	西澤 正豊	野村 恭一	野元 正弘	服部 信孝
原 英夫	福永 秀敏	福山 秀直	古谷 博和	松本 昌泰	三木 哲郎
水澤 英洋	村井 弘之	村山 繁雄	望月 秀樹	本村 暁	本村 政勝
山田 正仁	山中 宏二	山本 光利	吉田 眞理		

各種企画のお知らせ

1. 大会長講演 英語セッション 同時通訳
私の Keep Pioneering：神経科学と免疫学の統合による神経難病のパラダイムシフトをめざして
吉良 潤一（九州大学大学院医学研究院神経内科学）
2. 特別講演 英語セッション 同時通訳
中村 哲（ペシャワール会）
3. セミプレナリーレクチャー 英語セッション
 - 1) Microglia and T Cells
Richard Ransohoff（Research Institute Cleveland Clinic, USA）
 - 2) Update in Vascular Dementia
Vladimir Hachinski（London Health Sciences Centre University Campus, Canada）
4. 教育講演ベーシック
 - 1) てんかんは脳波でどこまで診断できるか
 - 2) ビデオでみるてんかん発作
 - 3) めまいを理解する（仮）
 - 4) 神経疾患と抑うつ状態
 - 5) 初学者のための学会発表・論文投稿
 - 6) 脊髄小脳変性症の診断と治療
 - 7) 進行した PD への対応
 - 8) ALS の緩和ケア：告知からオピオイドの使い方まで
 - 9) MG の過去・現在・そして未来
5. Symposium
 - 1) 仕事と家庭の両立：経験をシェア—様々な立場から—
 - 2) 急性脳血管症候群としての一過性脳虚血発作
 - 3) 神経疾患における睡眠障害
 - 4) 頭痛診療における Missing Link
 - 5) 遺伝性痙性対麻痺の最新情報
 - 6) 神経感染症における日本からの新たな発信
 - 7) 脳梗塞急性期治療の進歩 英語セッション 同時通訳
 - 8) 自律神経の臨床
 - 9) 炎症性ニューロパチーの新たな展開
 - 10) Gene and Cell Therapy for Parkinson's Disease 英語セッション
 - 11) Neuroinflammation in Dementia 英語セッション
 - 12) MS の高次脳機能障害
 - 13) 神経内科分野のビッグデータの分析から各種応用まで—これから研究を始める方へ—
 - 14) 今開かれる筋ジストロフィー治療の扉
 - 15) 神経放射線から見た神経内科疾患
 - 16) リスク遺伝子と孤発性神経疾患の最前線
 - 17) 運動ニューロン興奮性増大は ALS 病態の本質か？—Fasciculation の電気生理学—
 - 18) 日常診療の中の神経心理学
 - 19) iPS 細胞の生命倫理的問題と今後の展望
 - 20) 患者満足度を高める重症筋無力症治療へ
 - 21) 神経内科教育「学部教育から始まる」
 - 22) 自己免疫性脳炎の最近の知見
 - 23) 日本ブレインネットの構築に向けて
 - 24) てんかん分野での遠隔治療と診療連携
 - 25) 感染症と脱髄疾患
 - 26) 身体と機器とのインタラクティブバイオフィードバックに基づく新たなリハビリテーションへ
 - 27) New Trends in Therapeutics of Alzheimer's Disease 英語セッション

- 28) 開発中の神経疾患治療薬と日本の貢献
 - 29) 神経難病医療の現状と今後の展望
 - 30) 筋炎の病態研究の最近の進歩
 - 31) 神経変性疾患における神経炎症
 - 32) てんかん研究の最前線
 - 33) TDP-43 の新展開
 - 34) Clinical Impact of Nerve Excitability Testing 英語セッション
 - 35) Disease Propagation and Transmission in Prion Disease and Other Protein-Misfolding Disorders 英語セッション
 - 36) 神経内科における在宅治療の展開
 - 37) デイバート：MS の早期 DMT 導入への期待と課題
 - 38) (新) 専門医制度の動向—神経内科医のキャリアプランを考える—
 - 39) 脳卒中の大規模コホート研究
 - 40) サルコペニアの概念と病態研究の進歩
6. 公募シンポジウム
- 1) 日本人に好発する遺伝性白質脳症の診断と今後の展望
 - 2) 大きく展開する次世代分子創薬・診断の潮流
 - 3) 肥厚性硬膜炎をめぐる最近の進歩：ANCA 関連血管炎と IgG4 関連疾患の病態に焦点をあてて
 - 4) 運動異常症，てんかん発作，頭痛，睡眠関連疾患のボーダーランド：病態，鑑別診断は？
 - 5) 認知症根本治療の実現へ向けて
 - 6) 髄液の産生・吸収機構の新しい概念と特発性正常圧水頭症の診断・治療の進歩
 - 7) 自己免疫性小脳失調症 up-to-date
 - 8) びまん性白質障害の臨床的鑑別と病理
7. 日本神経学会第 4 回災害対策フォーラム
東日本大震災被災地のその後と日本神経学会の災害支援ネットワーク体制
8. 関連分野融合セッション
- 1) 文学・芸術・神経学
 - 2) 音楽療法：科学的視点から
 - 3) 小児神経学との接点：てんかんキャリアオーバー
 - 4) 工学と神経学 1：神経症候の計測とその理解
 - 5) 工学と神経学 2：脳磁図が明らかにする神経ネットワークの障害（仮）
 - 6) 社会科学と神経学
 - 7) 特定の神経疾患をめぐる法律—道路交通法と処罰に関する法律の改正—
 - 8) 整形外科と神経内科の狭間の疾患：診断と治療
 - 9) リハビリテーションと神経内科—誤嚥の診断と新たな摂食・嚥下リハビリテーションに向けて
9. 私シリーズ
- 1) 私と重症筋無力症
 - 2) 私と ALS
 - 3) 私と神経症候学
 - 4) 私と臨床神経生理学
10. Progress of the Year 2014
- 1) ジストニア—パーキンソニズムの最近の進歩
 - 2) 多系統萎縮症—Update—
 - 3) 脱髄性疾患の新たな切り口
 - 4) 新規抗凝固薬（NOAC）の登場：脳梗塞治療をどう変えるか？
11. 新ガイドラインシリーズ
- 1) 新重症筋無力症診療ガイドラインが目指すもの
 - 2) 筋ジストロフィー
 - 3) 認知症治療ガイドライン
 - 4) GBS ガイドライン
 - 5) 慢性頭痛の診療ガイドライン 2013 英語セッション 同時通訳

- 6) CIDP/MMN 英語セッション 同時通訳
- 7) 診療ガイドラインを起点として神経学会の将来像を考える
12. レクチャーシリーズ
 - 1) GBS: Frontline of Immunopathological Study 英語セッション
 - 2) What the Nerve Biopsy Specimens Tell Us 英語セッション
 - 3) 脳神経内科医のためのニューロサイエンスの基礎
 - 4) 初心者向けの筋疾患患者の診かたと画像診断
 - 5) 慢性頭痛の診断と治療
 - 6) 診療に役立つ遺伝性ニューロパチーの話
 - 7) Prospects for the Future of AOAN and Neurology in Asia 英語セッション
13. 神経内科 CPC
14. 九州部会特別企画
 - 1) 九州の神経学の歴史と次世代へのメッセージ
 - 2) 九州から発信された神経疾患
15. Super Expert Session
 - 1) 脳梗塞急性期診療における脳血管内治療と神経内科医の役割
 - 2) 神経再生医療の最前線
 - 3) PSP と CBD : 鑑別は可能か
16. International Session 英語セッション
 - 1) Opening Lecture : Disease-Modifying Therapy for Multiple Sclerosis: Update
 - 2) Glia is No Longer Glue: New Roles of Glial Cells in Neurological Diseases
 - 3) Female Neurologists and Neuroscientists in the World Part 1
 - 4) Recent Progress in ALS Research; Features from Genome- and Population-based Study
 - 5) Mariera Cruise Deck 1 : Meet the Expert Part1
Mariera Cruise Deck 2 : Female Neurologists and Neuroscientists in the World Part 2
 - 6) Meet the Expert Part2
 - 7) Acute Stroke Therapy in Asia
 - 8) Hot Topics: Advances in Parkinson Disease
 - 9) Epilepsy (Telemedicine)
 - 10) Involuntary Movement (Telemedicine)
 - 11) Frontiers in Dementia Research
 - 12) Education of Neurology in Asia: Current Status and Future Collaboration
 - 13) Neuroscience: RNA Biology
17. International Workshop and Oral Presentation 英語セッション
 - 1) MS/NMO 1
 - 2) Stroke 1
 - 3) Infection & Other Inflammation
 - 4) MND
 - 5) Clinical Neurophysiology
 - 6) Animal Models for Neurological Diseases
 - 7) MS Model 1
 - 8) Dementia 1
 - 9) Muscle
 - 10) MS/NMO 2
 - 11) Dementia 2
 - 12) PNS/Autonomic
 - 13) NMJ
 - 14) PD 1
 - 15) Stroke 2
 - 16) MS Model 2

- 17) PD 2
- 18) Stroke 3
- 19) MS/NMO 3
- 20) Epilepsy
- 21) SCD
- 18. Closing Lecture 英語セッション
 - 1) Regenerative Therapy Using Muse Cells
出澤 真理 (東北大学大学院医学系研究科細胞組織学分野)
 - 2) Genetic Study in MS
Jorge R. Oksenberg (University of California San Francisco, USA)
 - 3) World Neurology: Its Horizon and Beyond
Vladimir Hachinski (Western University, Canada)
- 19. 日本神経学会 2013 年度学会賞受賞者招待講演
筋萎縮性側索硬化症における細胞群特異的病態の解明
山中 宏二 (名古屋大学環境医学研究所病態神経科学分野)
- 20. 日本神経学会 2013 年度楳林賞受賞者招待講演
パーキンソン病の磁気刺激治療法の開発研究
宇川 義一 (福島県立医科大学医学部神経内科)
- 21. 学術大会優秀口演賞・優秀ポスター候補演題セッション
- 22. レジデントセッション
- 23. 医学生・初期研修医セッション
- 24. 一般口演・ポスター
- 25. レジデントクリニカルトーナメント
- 26. ランチョンセミナー
- 27. イブニングセミナー
- 28. 日本神経学会第 11 回生涯教育セミナー「レクチャー」(5月21日(水)・24日(土))
 - 1) 脳梗塞急性期のスタンダード治療
 - 2) 明日から役立つてんかん薬物治療のコツ
 - 3) 中枢神経系感染症の治療
 - 4) 認知症における神経心理学的症候
 - 5) 免疫治療の進歩
- 29. 日本神経学会第 11 回生涯教育セミナー「Hands-on」(5月21日(水)・24日(土))
 - 1) パーキンソン病診察の世界標準を学ぶ—MDS-UPDRS—
 - 2) 高次脳機能検査
 - 3) 脳波
 - 4) 神経筋電気診断
 - 5) ボツリヌス毒素療法
 - 6) 超音波(頸動脈エコー)
 - 7) 超音波(経頭蓋ドプラ)
- 30. 日本神経学会第 3 回専門医育成教育セミナー(旧:卒後教育セミナー)(5月21日(水))
 - 1) これだけは知っておきたい脳血管障害の画像診断
 - 2) 脊髄は金太郎飴ではない
 - 3) 「頭痛が得意」といえる神経内科医になる
 - 4) 脳波—基礎から臨床まで—
- 31. 日本神経学会第 2 回メディカルスタッフ教育セミナー(5月24日(土))
 - 1) 認知症の病態の理解に基づく合理的なケア・リハビリテーション
 - 2) 初学者のための末梢神経伝導検査の基礎と実際
- 32. 脳梗塞 rt-PA 適正使用講習会
- 33. ふくおかブレインフェア(5月22日(木)・23日(金)・24日(土))